

2017 JUNE / Vol.6

メディア企業の強みを活かした 多様なCSR活動を展開



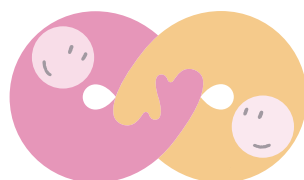
つなげる笑顔 つながる心 メディアの力でできること ∞ 無限大

フジ・メディア・ホールディングスは多様なメディアの集合体です。

各社業態は異なりますが、共通する思いは

「創造する力」を通じて人と人をつなぎ 笑顔をつくること。

社会の一員として どんな社会課題の解決に結びつけられるかを常に考え、行動し続けます。



つなげる笑顔 つながる心

メディアの力でできること ∞
無限大

熊本地震に対する復興支援活動

2016年4月の熊本地震発生を受け、フジ・メディア・ホールディングス各社が連携を取り、放送をはじめとするそれぞれの特色を活かした復興支援活動を行いました。

フジネットワーク サザエさん募金

熊本県と大分県の人々を支援するため、フジテレビをはじめ多くのグループ企業が放送やホームページを通じて募金を呼びかけました。

期間中に皆様から寄せられた募金の総額
1億7,262万8,295円を

日本赤十字社へ義援金として寄付しました。

<実施期間> 2016年4月18日～5月31日



© 長谷川町子美術館

サンケイリビング新聞社

支えたい プロジェクト



熊本地震の被災者の生活支援のために、ネットワーク共通の募金口座を開設し、各リビング新聞紙上で告知しました。

総額418万6,702円を

熊本リビング新聞社を通じて熊本県へ寄付しました。

<参加社> リビング新聞ネットワーク各社

<実施期間> 2016年4月17日～2016年12月13日

ニッポン放送	ラジオ500台を寄贈。リスナーの皆様からの義援金1,088万9,991円を熊本へ寄付
ディノス・セシル	下着類約2,500枚他を南阿蘇村に寄贈。売り上げの一部等728万1,724円を寄付
BSフジ	4月22日に益城町の女子サッカークラブにベンチコートとTシャツ約300枚を送り、クラブが各避難所に配布。さらにDVDを寄贈
ポニーキャニオン	避難所にDVDを寄贈
サンケイビル	熊本地震義援金1,000万円を寄付

フジテレビ

フジテレビずとおうえん。プロジェクト

～エンターテインメントの力で笑顔と心の潤いを提供～
ニーズに合ったオリジナルの復興支援活動を行いました



○ 5月2日「テレビが見たい」という要望を受け、熊本県阿蘇郡西原村と嘉島町の避難所2ヶ所にテレビ・DVDデッキ・DVDを届け、アンテナを設置しました。



この「テレビを届けた活動」が災害情報の迅速な提供や娯楽番組を通じたストレスの軽減につながったとして、**総務省・中央非常通信協議会より表彰**を受けました。

○ バボちゃんとともに
バレー部を訪問



○ 嘉島町の避難所で「アイアンシェフ」出演の一流シェフたちが
温かいお料理計800食を提供



○ 8月・3月に「サザエさん」
上映会を実施



ふくしま浜街道・桜プロジェクト

子どもたちが誇れる桜の名所になることを願って

福島に桜を植える活動をしている「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」に、フジ・メディア・ホールディングス各社は2013年度から協賛しています。2016年度はディノス・セシールの顧客や、フジ・メディア・ホールディングス各社等から合わせて210本の桜の苗木を寄付し、これまでに867本を寄付しています。今年1月には、福島県新地町で地元の高校生とともに52本の桜の植樹を行いました。



フジテレビ／フジアール(八美会)

こども笑顔プロジェクト

フジテレビ美術制作局と美術関連協力会社からなる「八美会」で、2013年度から行っている復興支援活動です。これまでに岩手、宮城、福島などで6回実施。

テレビ美術の裏側を紹介したり、「のこぎり体験」や、人気キャラクターに扮して写真撮影をしたりと、テレビ局ならではの活動で被災地に笑顔を届けています。

こども笑顔プロジェクト
テレビ美術が活躍!



フジ・メディア・ホールディングス各社

フジ・メディア・ホールディングス 合同清掃活動(年3回)

毎年3回フジ・メディア・ホールディングス各社の有志が集まり、お台場エリアの清掃活動を行っています。この活動は2012年10月から始まり、これまでに13回実施。すっかり定着し、参加者は毎回70人を超え、美しい街づくりに貢献しています。



フジテレビ／フジ・メディア・テクノロジー

ダイバーシティ社会の 実現をめざして

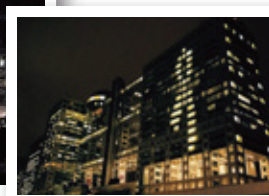
フジテレビ社屋イルミネーション「グリッター8」を活用し社会的課題への支援の意志を発信しています。“知ってもらふ”機会を提供し問題解決につなげる目的ではじまり、2016年度はパレットタウン大観覧車や自由の女神も参加するなど、お台場エリア全体に広がっています。



ピンクリボン



4月2日 世界自閉症啓発デー 街全体がシンボルカラーのブルーに



イエローリボン

ラジオ・チャリティ・ミュージックソン

ラジオ・チャリティ・ミュージックソンは、ニッポン放送が1975年から行っている視覚障害者のためのチャリティ活動です。毎年クリスマス・イヴからクリスマスにかけての24時間、ラジオを通じて募金を呼びかけるもので、昨年が42回目となりました。

このラジオ・チャリティ・ミュージックソンへの協力をフジ・メディア・ホールディングス各社の有志で毎年継続しています。2016年は14社から38人が参加し、募金の電話受付と屋外ステージでの街頭募金活動を行いました。



実施日：2016年12月24日正午～25日正午 パーソナリティ：斉藤由貴

最終募金額 7,165万6,137円

1975年からの合計募金額は 44億2,119万1,470円

これまでに **3,057基** の
「音の出る信号機」が
設置されました。



FNSチャリティキャンペーン

2017年度の支援国 ボリビア多民族国

FNSチャリティキャンペーンは、世界の子どもたちの笑顔のために行っているチャリティ活動です。フジテレビ系列各社およびBSフジが放送などを通じて日本ユニセフ協会と連携し、40年以上にわたって実施しています。これまでの募金総額は約42億円。

2016年度はトーゴ共和国の子どもたちを支援しました。



ボリビアは、南米中西部に位置する内陸国で、国民の60%以上が貧困層に属し、南米で最も所得水準の低い国の一つです。家計を助けるために約50万人の子どもが路上の靴磨きや露店などで働いていたり、農場や鉱山などでの労働を強いられています。

2016年度最終寄付金額 4,551万198円

集まった募金は公益財団法人日本ユニセフ協会を通じて、現地の子どもたちの支援のために活用されます。

高松宮殿下記念 世界文化賞

「高松宮殿下記念世界文化賞」は、公益財団法人日本美術協会（総裁・常陸宮殿下）により1988年に創設された、全世界の芸術家を対象にした顕彰制度です。賞は絵画、彫刻、建築、音楽、演劇・映像の5部門で、2016年10月に第28回の授賞式が行われました。

これまでの受賞者は27ヶ国・144人となり、世界の文化芸術の普及・向上に寄与しています。



地球環境大賞

「地球環境大賞」は、フジサンケイグループが「産業の発展と地球環境との共生」をめざし、世界自然保護基金（WWF）ジャパン（名誉総裁・秋篠宮殿下）の特別協力を得て、1992年に創設した産業界を対象とする顕彰制度です。

2017年4月に第26回の贈賞式が行われ、今では日本を代表する環境顕彰制度として広く社会に定着しています。

